

11月 さかなグループだより

2016.11.1

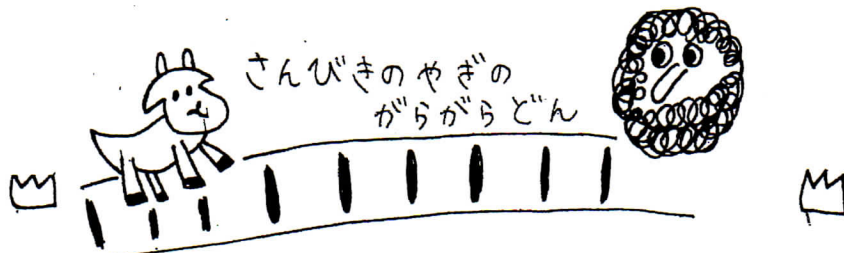
年主題 心をつなぐ

月主題 ありがとう

- 月日標
- ・ 豊かな秋の実りを喜び、神様に感謝する
 - ・ いろいろな働きによって私たちの生活が支えられていることを知る
 - ・ 気持ちや考えを伝え合い、わかちあいながら友達と過ごす

先月は、ばらのお友達のグループが変わり、また、わかばのお友達も幼児フロアーに引越しをしてきました。お相手の変わったさくら・ゆりのお友達やグループの変わったばらのお友達の中で変化が見られました。ばらのグループ発表の日のごとを、幼児ぐみ全員には前もって話していたことで見通しをもつことは出来ていましたが、今まで一緒に過ごしてきたグループのばらさんがいなくなることで寂しくなっていたお友達がいました。またわかばのお友達が移行してきたことで、ゆりさんやばらさんがわかばさんのお手伝いに行くことが増えたことで、今まで一番にお世話してもらったさくらのお友達が少し寂しくなっているようです。ゆりさんやばらさんに来てほしくて自分でできることでもせず、待っていたり、来てほしいと名前を呼んでいることがあります。その様子を見てみると、今まで一緒に楽しんできたことで良い関係が出来ていたことを感じました。これからも、グループ・お相手さんとの関係を良くし、楽しく過ごしていきたいと思えます。わかばさんは、2階に上がってきたことで「すみれさん」と呼ばれるようになりました。幼児フロアーでは、一番大きかったすみれさんも幼児フロアーに引越し、一番小さいお友達になりました。お相手のお兄さん・お姉さんに上手に甘えながら、幼児フロアーの生活を楽しんでほしいと思っています。

朝・夕涼しくなり、散歩や園外に出かけやすい季節になってきました。戸外に出かけると、秋の実りをたくさん見つけ、秋を感じられます。この季節、いろいろな果物が色づき始め、畑の野菜もたくさん収穫されます。果物や野菜を食べることで、いろいろな人達がお世話してくれていることに感謝する気持ちが持てるように、日々の保育の中で伝えていきたいと思えます。また色々な恵みを神様が与えて下さっていることにも感謝していきたいと思えます。



午睡前に『さんびきのやぎの がらがらどん』を読むと、ゆりの子ども達から「チイサイヤギハ サクラサン・チウクライノヤハ バラサン・オオキイヤギハ ユソサン」と声があがり、言葉のやりとりを楽しんでいます。その様子を見て、個人のお面を作ったり、橋を作って劇ごっこを楽しもうと思っています。